

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	平成30年7月23日
タイトル	子ども達は生き物が大好き！
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

平成30年7月15日（日）、連日猛暑日が続く中、那須苗取り田植唄保存会による「田んぼの学校」草取り・生き物調査が行われました。肌を刺すような暑さで、熱中症が心配される気温の中、保存会メンバーや、親子等、約40名の参加がありました。

水土里ネットでは、安全管理のもと熱中症予防対策として作業前に塩飴の配布を行い、その甲斐もあってか、30℃を超える暑さの中、誰一人として体の不調を訴える者も無く作業を行うことが出来ました。

今回の活動は、草取りと生き物調査です。子供達は生き物に興味津々で、受付を済ませた子には、開始時間までの間、生き物の採取をさせたところ、様々な種の生き物が採取できたことに大満足し、「カエルとったよ!」、「バッタとったよ!」と報告してくれる子や、早く活動をしたくてそわそわしている子などが見受けられました。

活動を始める前に、農家の方より草取り機の使い方の説明をいただき、待ちに待った生き物調査を行いました。それぞれに、田んぼの畔や水路等へ網とバケツを持ち、目を凝らしながら夢中で採取していました。採取した生き物は、どじょう・トウキョウダルマガエル・トノサマカエル・アマガエル・アカガエル・バッタ・カゲロウの幼虫・カタツムリ・ドブシジミ・サカマキガイ等を採取する事ができました。自分がとってきた生き物の正式な名前を知ると、子ども達は満足気に見入っていました。

生き物調査の次は、草取り作業です。昔ながらの草取り機で稲の間を、草取り機を押しては引いてと繰り返します。こちらも、猛暑の中、順番を待ちながら一生懸命作業していました。

参加している保護者の方との会話の中で、「このような貴重な体験を子ども達に経験させる事ができるこの環境や田んぼの学校の活動には、心から感謝している。活動している子ども達はとても生き生きとしていて、そんな子ども達を見ているだけで楽しい。」と、おっしゃっていました。このような言葉をいただくことで、この活動の目的が達成出来ていることを認識できました。今後も子ども達のためにも、目的を持って精一杯支援したいと思います。

↓ 農家の方より、草取りの説明





蜘蛛の子を散らしたように、思い思いの場所へ
生き物を探しに行きました。

2018. 7. 15 9:16

↓ 採取した生き物の種類を調べています。
間近で生き物を見ることが出来て嬉しそう！



2018. 7. 15 9:39



2018. 7. 15 9:55

← かなりの重労働にもかかわらず
小さな子や女の子、男の子達も
丁寧にがんばりました！



暑い中、お疲れさまでした！！

2018. 7. 15 10:17